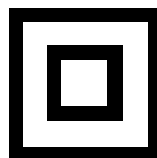
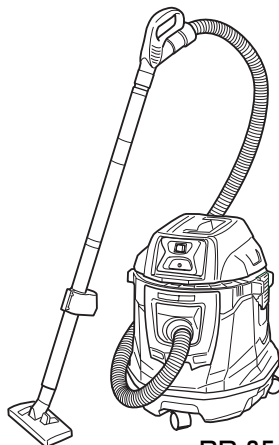
Hitachi Koki

日立工機電動工具用集じん機

RP 35SA 〔乾湿両用〕
RP 35SB 〔乾湿両用〕
RP 35SD 〔乾式〕

取扱説明書

このたびは日立電動工具用集じん機をお買い上げいただき、ありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られる所に大切に保管してご利用ください。

二 重 絶 縁

RP 35SA

RP 35SD

HITACHI

目　　次

⚠警告、⚠注意、注 の意味について

ご使用上の注意事項は「⚠ **警告**」、「⚠ **注意**」、「**注**」に区分しており、それぞれ次の意味を表します。

⚠警告　：**誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。**

⚠注意　：**誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。**

なお、「⚠ **注意**」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。

注　：**製品の据付け、操作、メンテナンスに関する重要なご注意。**

集じん機の安全上のご注意

- **火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。**
- **ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。**
- **お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。**

⚠ 警　告

① 作業場は、いつもきれいに保ってください。
- ちらかった場所や作業台は、事故の原因になります。

② 作業場の周囲状況も考慮してください。
- 作業場は十分に明るくしてください。
- 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。

③ 使用電源は、銘板に表示してある電圧・周波数で使用してください。
- 表示以外の電源を使用すると、火災・感電や故障の原因になります。

④ 子供を近づけないでください。
- 作業者以外、集じん機やコードに触れさせないでください。
- 作業者以外、作業場へ近づけないでください。

⑤ 作業に合った集じん機を使用してください。
- 指定された用途以外に使用しないでください。

⑥ コードを乱暴に扱わないでください。
- コードを持って集じん機を運んだり、コードを引っ張って電源コンセントから抜かないでください。
- コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
また、重い物を載せたり、挟み込んだりしないでください。

⑦ 集じん機は、注意深く手入れをしてください。
- 付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
- コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店または日立工機電動工具センターに修理を依頼してください。
- 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。

⑧ 次の場合は、集じん機のスイッチを切り、元の電源をOFFにしてください。
- 使用しない、または修理する場合。
- ホース、フィルタなどの付属品を交換する場合。
- その他、危険が予想される場合。

⚠ 警　告

⑨ 不意な始動は避けてください。

- 電源につないだ状態で、スイッチに指を掛けて運ばないでください。
- さし込みプラグを電源コンセントにさし込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。

⑩ 油断しないで十分注意して作業してください。

- 集じん機を使用する場合は、取扱方法、作業のしかた、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
- 集じん機から離れて作業する場合は、集じん機の運転状況（異常音、粉じん吹出し、発煙など）に十分注意しながら作業してください。
- 常識を働かせてください。
- 疲れているときは、使用しないでください。

⑪ 損傷した部品がないか点検してください。

- 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また、所定機能を発揮するか確認してください。
- 可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他、運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
- 損傷した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店または日立工機電動工具センターに修理を依頼してください。
  スイッチが故障した場合は、お買い求めの販売店または日立工機電動工具センターに修理を依頼してください。
- スイッチで始動および停止操作のできない集じん機は、使用しないでください。

⑫ 集じん機の修理は、専門店に依頼してください。

- この集じん機は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- 修理は、必ずお買い求めの販売店または日立工機電動工具センターに依頼してください。
  ご自身で修理すると、事故やけがの原因になります。

回　二重絶縁について

電気が流れる導体部と人の触れる外枠部の間が、二つの絶縁物で二重に絶縁されている電動工具で、この製品には“回”マークを表示しています。

二重絶縁工具は、感電に対し安全性が高められています。

異なった部品と交換したり、間違って組立てると、二重絶縁構造ではなくなり、危険です。

電気系統の分解・組立や部品の交換・修理は、お買い求めの販売店または日立工機電動工具センターに依頼してください。

電動工具用集じん機の使用上のご注意

先に集じん機として共通の注意事項を述べましたが、電動工具用集じん機として、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

⚠ 警　告

① **定格 15 A以上の電源コンセントを単独で使用してください。**
他の器具と併用すると、異常発熱による火災の原因になります。

② **以下のものは吸込まないでください。**
- 金属の研削、切断作業時に発生する火花。
- 火のついた、たばこの吸いがらなど高温度の物。
- 引火性物質(ガソリン、シンナー、ベンジン、灯油、塗料など)、爆発性物質(ニトログリセリンなど)、発火性物質(アルミニウム、亜鉛、マグネシウム、チタン、赤リン、黄リン、セルロイドなど)。
- 釘、カミソリの刃など鋭利な物。
- 木片、金属、石、ひもなど。
- セメント粉・トナーなど固化するものや、金属粉・カーボン粉など導電性の微粉じん。
- 油、熱湯、薬液、洗剤など発泡性のある液体。
- 水、油などの液体。(**RP 35SD**の場合)

火災やけがの原因になります。

③ **フィルタは正しくセットして使用してください。**
フィルタをはずしたまま使用したり、セット位置を誤ったまま使用したり、破れたフィルタを使用したりしないでください。
モーターが故障する原因になります。

④ **機体やさし込みプラグに水や油などをかけたりしないでください。**
この機体は防水構造ではないため、感電や故障の原因になります。

⑤ **機体の吸込み口・吸気口・排気口をふさいだ状態で使用しないでください。**
モーターの温度が異常に上昇し、部品の変形やモーターが故障する原因になります。

⑥ **フロートが動作したまま、またホース、吸口などに異物が詰まったまま運転しないでください。**
モーターの温度が異常に上昇し、部品の変形やモーターが故障する原因になります。

⑦ **機体を倒したり、横倒しの状態で使用しないでください。**
感電や故障の原因になります。

⚠ 警　告

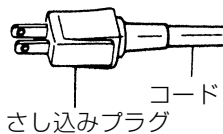
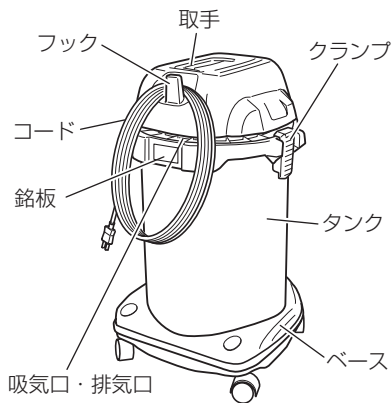
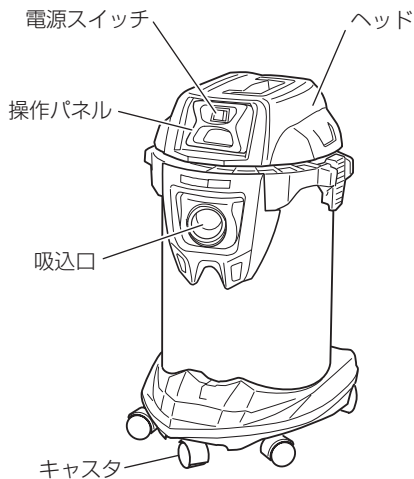
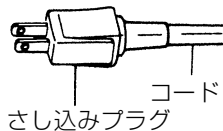
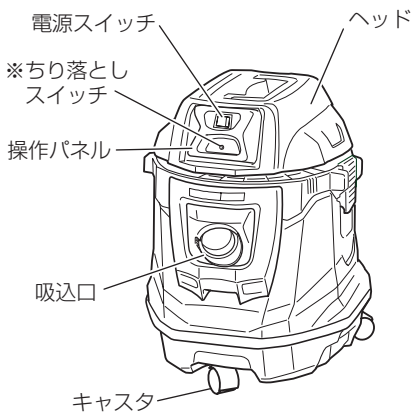
⑧ **転倒などによる機体の変形、破損防止のため、機体は静かに移動してください。**
破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。

⑨ **誤って落としたり、ぶつけたときは、機体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。**
破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。

⑩ **使用中、機体の調子が悪かったり、異常音、異常振動がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店または日立工機電動工具センターに修理を依頼してください。**
そのまま使用していると、けがの原因になります。

⑪ **この機体は屋内用です。決して屋外で使用しないでください。**
絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。

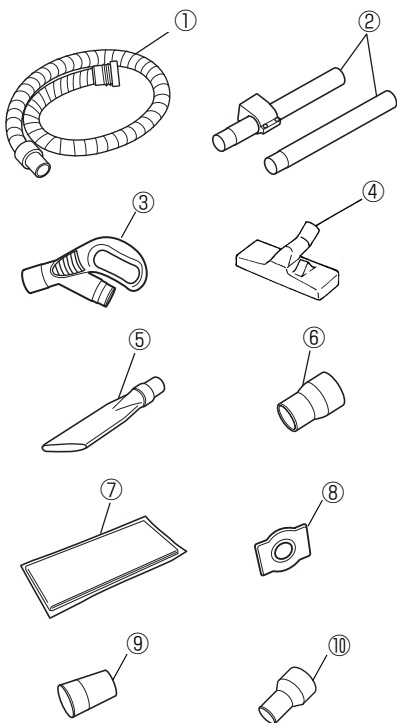
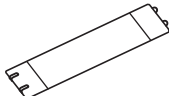
各部の名称

RP 35SA

RP 35SB、RP 35SD

※ちり落としスイッチ：RP 35SDのみ

仕　　様

<table>
<tr><th>項目＼形名</th><th>RP 35SA</th><th>RP 35SB</th><th>RP 35SD</th></tr>
<tr><td>使用電源</td><td colspan="3">単相交流 50 / 60 Hz 共用　電圧 100 V</td></tr>
<tr><td>モーター</td><td colspan="3">単相直巻整流子モーター</td></tr>
<tr><td>用途</td><td colspan="2">乾湿両用</td><td>乾式</td></tr>
<tr><td>電流</td><td colspan="3">強　12 A　・弱　8 A</td></tr>
<tr><td>消費電力</td><td colspan="3">強　1140 W・弱　760 W</td></tr>
<tr><td>最大風量</td><td colspan="3">強 3.5 m^3／min
弱 2.8 m^3／min</td></tr>
<tr><td>最大真空度</td><td colspan="3">強 25.5 kPa {2600 mm水柱}
弱 16.3 kPa {1660 mm水柱}</td></tr>
<tr><td>集じん容量</td><td>32 L</td><td colspan="2">25 L</td></tr>
<tr><td>吸水容量</td><td>30 L</td><td>22 L</td><td>－</td></tr>
<tr><td>ちり落としモーター</td><td colspan="2">－</td><td>直流モーター，12 V</td></tr>
<tr><td>フィルタの種類</td><td colspan="2">布フィルタ</td><td>粉じん用フィルタ</td></tr>
<tr><td>外形寸法</td><td colspan="3">RP 35SA：奥行 460 ×幅 400 ×高さ 710 mm
RP 35SB・RP 35SD：奥行 435 ×幅 415 ×高さ 545 mm</td></tr>
<tr><td>質量 ※</td><td>10.1 kg</td><td>7.8 kg</td><td>9.5 kg</td></tr>
<tr><td>コード</td><td colspan="3">2 心キャブタイヤケーブル 5 m</td></tr>
</table>

※コード、付属品を除く。

標準付属品

① ホース
（内径φ 38 ×長さ 2 m）………… 1 本
② 延長管……………………………… 2 本
③ ホース接続ハンドル …………… 1 個
④ 床用吸口…………………………… 1 個
⑤ すき間用吸口……………………… 1 個
⑥ アダプタ…………………………… 1 個
⑦ ポリ袋
（ 800 ㎜× 650 ㎜）(10 枚入）… 1 個
⑧ ポリホルダ………………………… 1 個
⑨ D38 アダプタ（ 38 ㎜用）
（マキタ電動工具との接続用)……… 1 個
⑩ D38 アダプタ（ 26 ㎜用）
（マキタ電動工具との接続用)……… 1 個

別売部品

（別売部品は生産を打ち切る場合がありますので、ご了承ください。）

１．フィルタ・ホース・吸口など

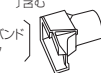
部　品　名	用　途
紙フィルタ（５枚入り）	紙フィルタごと捨てることで、清潔にゴミ捨てができます。 水は吸引できません。 紙フィルタ使用時は、布フィルタまたは粉じん用フィルタを併用してください。
紙フィルタ（５枚入り）	
ナイロンフィルタ	水、湿った粉じんを吸引するとき使用します。
ホース （内径φ 38 ×長さ５ｍ）	内径が太いため、作業場、その他の一般清掃するとき使用します。 電動工具と接続しても使用できます。
ホース （内径φ 25 ×長さ５ｍ）	内径が細く５ｍと長いため、電動工具と接続して使用するとき、使用します。
ホースカバーセット	ホースと電動工具のコードを包み込み、物に引掛かりにくくします。

部　品　名			用　　途
ホースバンド（ゴム製）			ホース（内径φ25）と電動工具のコードを束ねて、物に引掛かりにくくします。（5個入り）
ホースバンド	呼径	φ38	集じんアダプタを使用する場合、機体のアダプタと接続するため使用します。
		φ60	
		φ75	

2．集じんアダプタ・ジョイント

⚠ 警　告

- **表中の適用形名で下記の消費電力を超える電動工具は、この機体のさし込みプラグを接続している電源コンセントとは別のコンセントに接続してください。**
  この機体を強運転する場合…電動工具の消費電力285Wまで
  この機体を弱運転する場合…電動工具の消費電力665Wまで

適用機種	別売部品 集じんアダプタ
集じん丸のこ C 4YB　C 5YA C 5YC　C 6Y1 C 8Y　C 4YC C 5YB2	集じんアダプタ不要
コードレス集じん丸のこ C 14DYSL　C 14DYSL2	集じんアダプタ不要
集じん丸のこ C 4YA2	セット品〔　〕含む （ホースバンド アダプタ） （L字形）
リフォーム用丸のこ、丸のこ C 5MR	集じんアダプタセット
深切り丸のこ、丸のこ C 5MBY　C 5UBY C 6UBY C 5MVY　C 5UVY C 6UVY C 5MBYA　C 5MVYA C 6MBYA　C 6MVYA C 6MB4　C 6UB4 C 7MB4　C 7UB4 C 6SS　C 7SS	
コードレス丸のこ C 14DSL　C 14DSL2 C 18DSL2 C 18DMR　C 18DL C 18DSL	
ジグソー CJ 90VST　CJ 120V CJ 110M　CJ 110MV CJ 14DSL　CJ 18DSL	
ジグソー CJ 65SF　CJ 65VF	集じんアダプタ不要
サンダ SV 12SD	
ミニサンダ・ベルトサンダ SV 12SG　SV 12SH SV 13YB SB 8V2　SB 10V2	集じんアダプタ不要
コードレスチップソーカッタ CD 14DSL　CD 14DSL2	集じんアダプタ不要
コードレスチップソー切断機 CD 14DFL	集じんアダプタ不要

適用機種
別売部品
集じんアダプタ
電動工具用集じん機標準付属品
接続アダプタ・ジョイント
ホース
卓上丸のこ、ベンチ丸のこ、テーブル丸のこ
C 6RSH C 6RSHC
C 7RSHC C 7RSC
C 8FSE C 8FSH
C 8FC C 10FSH
C 12LDH C 12RSH
C 15FB C 10FD3
C 15FC C 10FE
（ホースバンド付）
ジョイント（別売）
アダプタ
内径φ38×2m
RP 35SA
RP 35SD
カッタ
CM 4YA
CM 5YA
ディスクサンダ
S 10SA3
100mm・125mm
ディスクグラインダ
（ダイヤモンドカッター使用時）
PDA-100H PDH-100H
G 10SB1 G 10YH2
G 10VH G 10SH4
G 10SL4 G 10SP4
G 10ST G 10SM3
G 10MH G 10ML
G 10B2 G 10SS
G 14DSL G 18DSL
（カップダイヤ用）
G 13SP G 13S4
G 13SH4 G 13SM3
G 13SS G 13VH
G 13YH2
アダプタ
内径φ38×2m
RP 35SA
RP 35SD
振動ドリル
DV 21V
VTP-25
ハンマドリル
PR-25B PR-38E
DH 35
DH 40SR DH 40MRY
ドリルビット専用
（錐径11～22mm 長さ280mmまで）
ロータリーハンマドリル
DH 25PB
ドリルビット専用
（錐径5～18mm 長さ209mmまで）
カッタ
CM 6 CM 11
CM 12Y
集じんアダプタ不要

適 用 機 種
別売部品
集じんアダプタ
電動工具用集じん機標準付属品
接続アダプタ・ジョイント
ホース
ルータ
M 8V2
M 12VE
M 12SE
M 12BA
ルータ
M 12SA2
M 12V2
かんな
P 20
小穴カッタ
PG 21BA
(φ31ホース使用不可)
アダプタ
内径φ38×2m
RP 35SA
RP 35SD
125・150・180mm
ディスクグラインダ
(ダイヤモンドカッター使用時)
G 13SP
G 13S4
G 13SH4
G 13SM3
G 13SS
G 13VH
G 13YH2
G 15SP
G 15YE
G 18SH
G 18YB
PDH-180C
G 18SP
ホイールガード ＋
ベースセット
ホイールガードベースセットと
合わせてご使用下さい。
ジョイント
(別売)
アダプタ
内径φ38×2m
RP 35SA
RP 35SD
ロータリハンマドリル
振動ドリル
DH 18PB
DH 18PH
DH 18MB
DH 24DV
DH 24DVA
DH 25DAL
DH 36DAL
DH 22PB
DH 24PB3
DH 24PC3
DH 24PF3
DH 24PM
DH 14DSL
DH 18DSL
DV 18VA
DV 20VE
DV 20VB2
DV 12V
DV 16V
ロータリハンマドリル
DH 24PD3
アダプタ(A)

用　　途

RP 35SA、RP 35SB	RP 35SD
○ 作業場、その他の一般清掃。 ○ 電動工具での木材などの研削、切断、穴あけ作業時に発生する粉じんの集じん。 ○ 床にこぼした水などの液体吸引。	○ 作業場、その他の一般掃除。 ○ 電動工具でのコンクリートや木材などの研削、切断、穴あけ作業時に発生する乾いた細かい粉じんの集じん。

注 • **RP 35SDでは、水は吸引できません。**

作業前の準備

ご使用前に次の準備をすませてください。

1．タンク内の付属品を取り出す

作業前にタンク内の付属品を取り出してください。

2．漏電しゃ断器の確認

この機体は二重絶縁構造で、法律により漏電しゃ断器の設置は免除されていますが、万一の感電防止のため、漏電しゃ断器が設置されている電源に接続することをおすすめします。

3．延長コード

⚠ 警　　告
• **延長コードは、損傷のないものを使用してください。**

電源が離れているときは、電流を流すのに十分な太さの延長コードをできるだけ短くして使用します。

次の表は、コードの太さ（導体公称断面積）によって、機体に使用できるコードの最大長さを示します。

導体公称断面積	最大長さ
1.25 mm^2	10 m
2 mm^2	15 m
3.5 mm^2	30 m

４．作業環境の整備・確認

作業する場所が２ページの「集じん機の安全上のご注意」①、②、④項にかかげられているような適切な状態になっているかどうか確認してください。

○騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。
ご近所に迷惑をかけないよう、規制値以下でご使用になることが必要です。
状況に応じ、しゃ音壁を設けて作業してください。

ご使用前に

⚠ 警　告
• **ご使用前に次のことを確認してください。１～３項については、さし込みプラグを電源コンセントにさし込む前に確認してください。**

１．使用電源を確かめる

必ず銘板に表示してある電圧でご使用ください。表示を超える電圧で使用するとモーターの回転が異常に速くなり、機体が破損する恐れがあります。

また、直流電源、エンジン発電機および昇圧器などのトランス類で使用しないでください。機体の損傷を生じるだけでなく、事故の原因になります。

２．電源スイッチが切れていることを確かめる

電源スイッチが入っているのを知らずにさし込みプラグを電源コンセントにさし込むと不意に機体が起動し、思わぬ事故のもとになります。

電源スイッチ（６ページの図参照）は、「強」側または「弱」側を押すと入り、「切」に戻すと切れます。電源スイッチが「切」になっていることを必ず確認してください。

３．フィルタの確認

フィルタは17ページ「３．フィルタを取付ける」の項を参照のうえ、正しく取付けてください。

４．電源コンセントの点検

さし込みプラグをさし込んだとき、電源コンセントがガタガタだったり、さし込みプラグがすぐ抜けるようでしたら修理が必要です。お近くの電気工事店などにご相談ください。

そのままお使いになりますと、過熱して事故の原因になります。

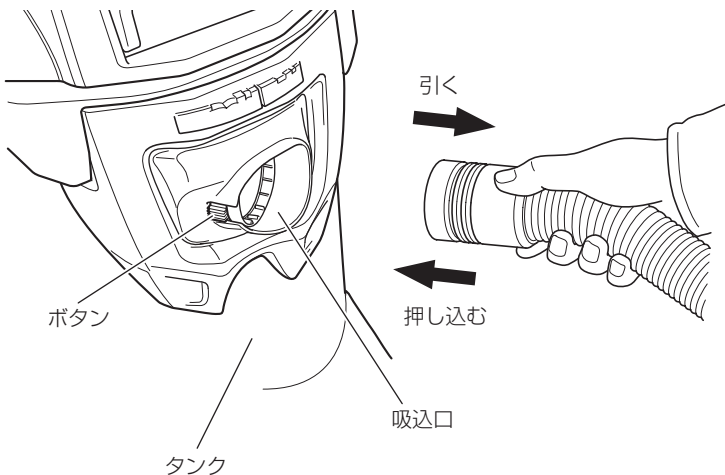
使　い　方

⚠　注　　意
• **ヘッド上面を踏み台にしたり、座ったりしないでください。** 急に機体が動き出し、転倒するなど、けがの原因になります。

注　• **ホースの取扱いはていねいにしてください。ホースを無理に曲げたり、踏みつけたり、ホースを引っ張って集じん機を移動したりしないでください。また、ホースを折り曲げたまま収納しないでください。**
ホースの変形などの原因になります。

1．ホースを接続する

付属品のホースをタンクの吸込み口に「カチッ」と音がするまで押し込み、接続します。

ホースを取りはずす場合は、吸込み口のボタンを押しながらホースを引いてはずします。

2．ポリ袋を取付ける（ポリ袋なしでも使用できます。）

注　• **ポリ袋には粉じんをためすぎないでください。**
ポリ袋が破れる原因になります。

• **吸込み口部のポリ袋の端部は、タンクの口元から出さないでください（次ページの上図参照）。**
タンク上面からポリ袋の端部を全て出すと、ポリ袋がしぼみ集じんできません。

(1) 付属のポリ袋を使用する場合

(a) クランプ（2個）をはずして、取手（6ページの図参照）を持って引き上げヘッドを取りはずします。

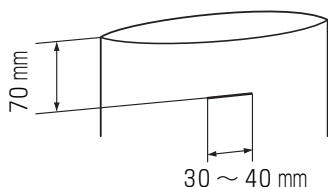
(b) フィルタ、フィルタケージを取はずします。〔RP 35SA、RP 35SBの場合〕

(c) タンク内側の吸込み口にポリ袋の穴をさし込みます。次に両端を折り曲げしたポリホルダを吸込み口にさし込み抜け止めをします。このとき吸込み口の抜け止め突起の奥側まで押し込みます。

(d) ポリ袋をタンクの内面に沿って広げた後、ポリ袋の端部をタンクの外に引き出します。

(e)「3．フィルタを取付ける」の項に従い、フィルタパッキン部がポリ袋をしっかりはさみ込むようフィルタを取付けます。

(2) 市販品のポリ袋を使用する場合

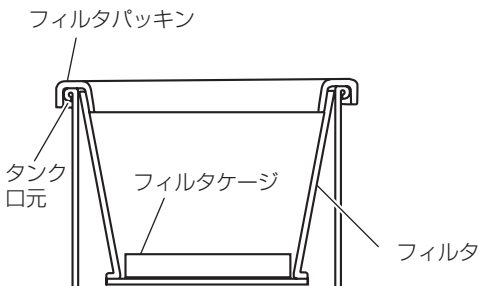
注 • **市販品のポリ袋は、45 L（800 ㎜× 650 ㎜）が使用可能です。ただし厚さ 0.04 ㎜以上のものをご使用ください。**

(a) ポリ袋の端部から約 70 ㎜のところに 30 ～ 40 ㎜の切りを入れます。

(b) ポリ袋取付け、他は付属のポリ袋を使用する場合と同じです。

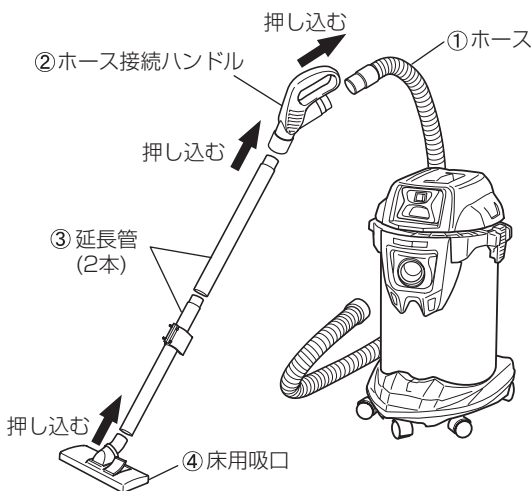
3．フィルタを取付ける

⚠ 警　告

- **フィルタ（布フィルタまたは粉じん用フィルタ）は、必ず取付けてください。**
  モーターが故障する原因になります。
- **サイディング粉、石材粉など細かい粉じんを集じんする場合は、別売部品の紙フィルタを使用してください〔RP 35SA、RP 35SBの場合〕。詳細は、紙フィルタの取付け方の項を参照してください。**
- **乾湿両用フィルタですので、水などの液体を吸水するときも取りはずさないでください〔RP 35SA、RP 35SBの場合〕。**

注 • **粉じん用フィルタは、水の吸水ができません〔RP 35SDの場合〕。**
• **ナイロンフィルタ（別売部品）使用時にも、ナイロンフィルタの底部にフィルタケージが入っていることを確認してください。〔RP 35SA、RP 35SBの場合〕**

(1) フィルタパッキンがタンク口元にかかっていることを確認してください。

(2) フィルタの底部にフィルタケージが入っていることを確認してください。（RP 35SA、RP 35SBの場合）

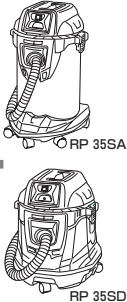
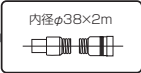
4．床用吸口、延長管他を取付ける …掃除機として使用する場合

①ホース、②ホース接続ハンドル、③延長管、④床用吸口の順に接続します。

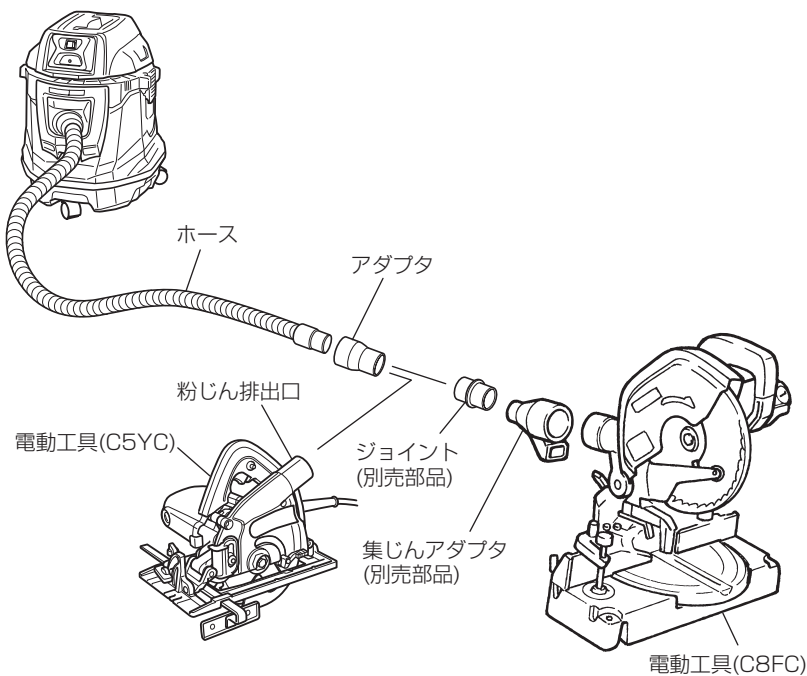
接続は、矢印方向に押し込みます。

用途によりすき間用吸口を取付けることもできます。

5．電動工具を接続する

⚠ 警　告

- **下記の消費電力を超える電動工具は、この機体のさし込みプラグを接続している電源コンセントとは別のコンセントに接続してください。**
  この機体を強運転する場合…電動工具の消費電力 285 Wまで
  この機体を弱運転する場合…電動工具の消費電力 665 Wまで

注
- **電動工具と接続して使用する場合は、 10 ～ 13 ページの「2．集じんアダプタ・ジョイント」の項を参照し、別売り部品を選択してください。**

付属品のホースをアダプタにさし込みます。

（マキタ）電動工具と接続する場合

マキタ製電動工具と本機を接続する「D38 アダプタ(2 種類)」を標準付属していますので、接続方法と適用機種について、下表を確認のうえご使用ください。

6．電源スイッチ、ちり落としスイッチの操作

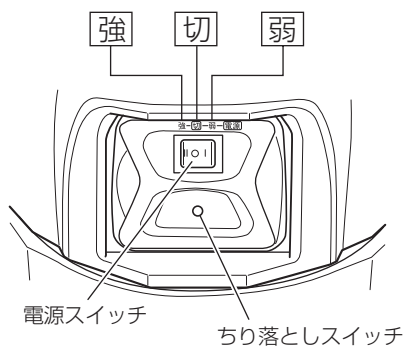
(1) 電源スイッチ

「強」側を押すと機体が強運転、「弱」側を押すと弱運転します。
「切」に戻すと機体が停止します

(2) ちり落としスイッチ・・・RP 35SDの場合

注 **ちり落とし装置が動作中、電源スイッチの「強」または、「弱」で運転、あるいは電動工具との連動運転を開始すると、ちり落とし装置の動作が停止します。**
ちり落とし装置は下記の場合、動作しないようになっています。

- 電源スイッチが「強」または、「弱」で運転している場合。
- 電源スイッチを「切」にしてモーターが停止するまでの間。
- 電源スイッチを「切」にしてから、15分以上経過した場合。
（一度電源スイッチを「強」または「弱」にして運転し、停止させれば、ちり落とし装置が動作できるようになります。）
- さし込みプラグを差し込んだとき。
（一度電源スイッチを「強」または、「弱」にして運転し、停止させれば、ちり落とし装置が動作できるようになります。）

ちり落としスイッチを押さなくても、本機は常時吸込み力を監視しているため、吸込み力がある程度低下した場合に自動的にちり落とし装置が動作し、吸込み力が回復します。

電源スイッチが「切」の場合、ちり落としスイッチを押すたびちり落とし装置が数秒間動作し、フィルタのちり落としができます。

7．フィルタのちり落とし

⚠ 警　告

- **必ず電源スイッチを切り、さし込みプラグを電源コンセントから抜いてください。**

⚠ 注　意

- **粉じんが満杯になっていると吸込み力が低下しますので、タンク高さの半分程度を目安に、粉じんは早めに捨ててください。**

RP 35SA、RP 35SBの場合

使用中に吸込み力が低下した場合、下記手順でちり落としをしてください。

(1) クランプをはずして、ヘッド（6ページの図参照）を取りはずします。手順は「8．粉じんを捨てる」項を参照してください。

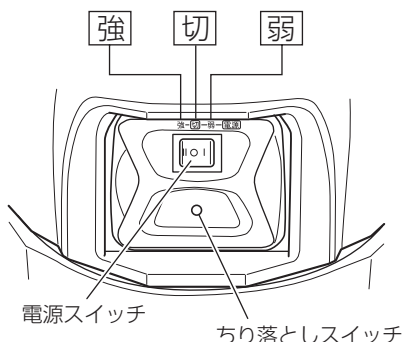
(2) フィルタがタンクに組込まれた状態で、フィルタの内側面を数回たたいて付着した粉じんを落とします。吸込み力が回復します。

(3) ヘッド、クランプをもとの位置に取付けます。取付け方法は、「8．粉じんを捨てる」項を参照してください。

RP 35SDの場合

注 • **ちり落とし装置は、吸込み力がある程度低下した場合に動作するようになっていますので、下記のような場合に動作します。**
・ホース先端の吸口を閉じた場合
・ホース内に異物が詰まった場合

この機体には、吸込み力がある程度低下した場合に自動的にフィルタのちり落としを行う装置がついています。

(1) 使用中に吸込み力がある程度低下した場合に電源スイッチを「切」にしてモーター停止後、自動的にちり落とし装置が数秒間動作し、吸込み力が回復します。

(2) その都度フィルタのちり落としをする場合は、ちり落としスイッチを押します。押すたび数秒間ちり落とし装置が動作します。ちり落としスイッチを押してもちり落とし装置が動作しない場合があります。詳細は21ページの「ちり落としスイッチ」項を参照してください。

(3) くり返しちり落とし装置を動作させても、吸込み力が回復しない場合、タンク内の粉じんが満杯に近い状態になっています。タンク内の粉じんを捨ててください。

8．粉じんを捨てる

⚠　警　　告
• **必ず電源スイッチを切り、さし込みプラグを電源コンセントから抜いてください。** • **RP 35SDの場合** **ちり落とし装置動作後、必ず電源スイッチを切り、さし込みプラグを電源コンセントから抜いてください。**

⚠　注　　意
• **タンク、フィルタ、ヘッドに強い衝撃を与えないでください。** 変形、破損の原因になります。 • **粉じんの吸込み量にもよりますが、タンク内の粉じんは毎日１回以上捨て、機体、フィルタなどを常に清潔に保ってください。** 吸込み力の低下やモーターの故障、悪臭発生やさびの原因になります。 • **タンク内の粉じんを捨てるときは、クランプを持たないでください。** クランプが破損する原因になります。

注
- **粉じんのたまったポリ袋をタンクから取り出すときは、タンク内の突起部に引っかけないようにポリ袋を取り出してください。**
  ポリ袋が破れる原因になります。
- **ポリ袋には、粉じんをためすぎないでください。**
  ポリ袋が破れる原因になります。
- **ベースやタンクに付属品（延長管、吸口等）をさし込んだままタンクを倒さないでください。**
  各部の破損の原因になります。

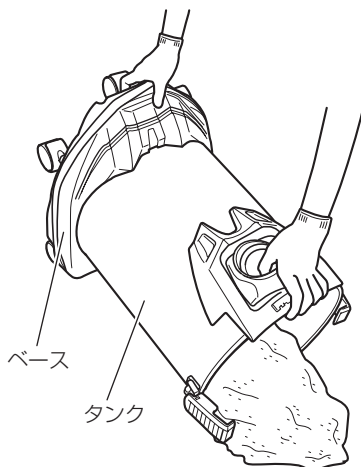
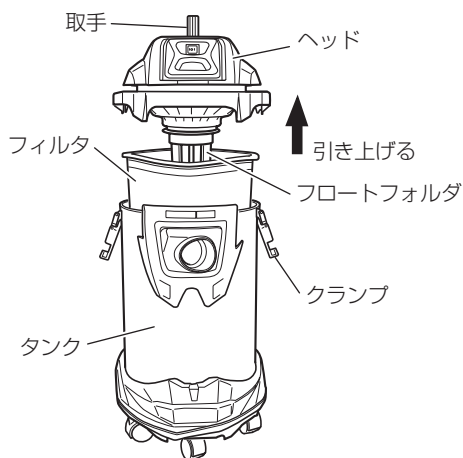
RP 35SA、RP 35SBの場合

⚠　警　　告
• **タンク内に液体が入ったまま機体を横倒しにすると、モーター部、スイッチ部に液体が入り、感電やモーター故障の原因になります。**

(1) クランプ（２個）（６ページの図参照）をはずして、ヘッドの取手を上方へ引き上げます。（次ページの図参照）

(2) フィルタの内側面を数回軽くたたいて、フィルタに付着した粉じんを落とします。次にタンクからフィルタとフィルタケージをはずします。

(3) タンクを倒し、粉じんを捨てます。（次ページの図参照）

(4) フィルタ、フィルタケージ、ヘッド、クランプをもとの位置に取付けます。

RP 35SDの場合

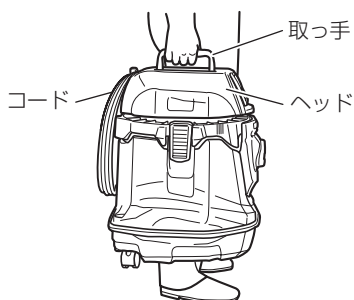
注 • 電源スイッチを「切」にして、ちり落としスイッチを押しフィルタのちり落としを行った後、粉じんがちんでんするのを待ってから、１分ほど待ってからタンクの粉じんを捨ててください。

(1) クランプ（２個）をはずして、ヘッドの取手（６ページの図参照）を上方へ引き上げます。

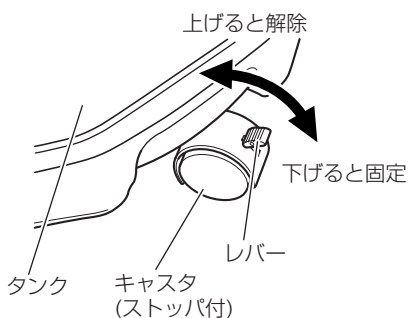
(2) タンク内の粉じんを捨てます。（左図参照）

(3) ヘッド、クランプをもとの位置に取付けます。

9．運搬・保管

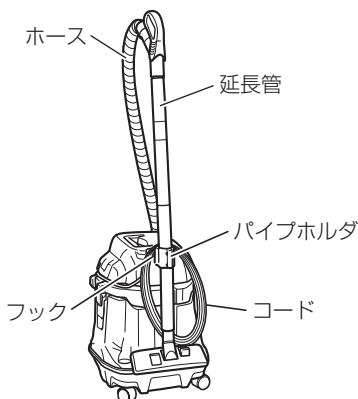
(1) 取っ手の使用方法

運搬・移動する場合は、左図のようにヘッド部の取っ手を持って行ないます。

取っ手を使用しない場合は、ヘッド部に収納しておいてください。

(2) キャスタの固定・解除

キャスタ（ストッパ付）のレバーを下げると車輪の回転が固定されます。車輪の固定を解除する場合は、レバーを上げます。

機体を車に積んで移動する場合、キャスタを固定すると機体の動き止めができ便利です。

ただし、機体を移動する場合は、キャスタの固定が解除されていることを確認してください。キャスタの破損の原因になります。

(3) 機体を保管する場合

掃除の途中にちょっと中断したいときに、フックの延長管のパイプホルダを引掛けることができます。
そのまま保管できます。
コードも束ねて引掛けることができます。

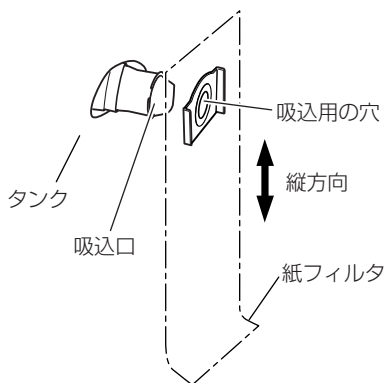
10．紙フィルタ（別売部品）の取付け方

⚠ 警　告

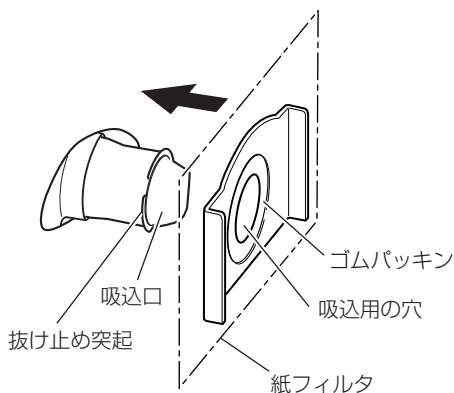
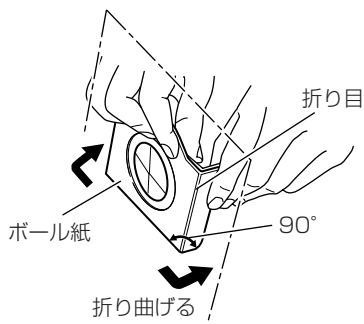
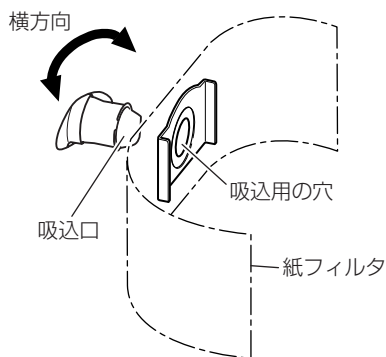
- **必ず電源スイッチを切り、さし込みプラグを電源コンセントから抜いてください。**
- **紙フィルタを使用するときは、標準付属の布フィルタと併用してください。（RP 35SDの場合、標準付属の粉じん用フィルタと併用してください。）**
  万一、紙フィルタが破損したとき、モーターに粉じんが入り、異音や異常発熱による火災の原因になります。

⚠ 注　意

- **紙フィルタ使用時は、水などの液体、湿った粉じんを吸わせないでください。**
  破ける原因になります。

RP 35SAの場合

(1) 紙フィルタの吸込み用の穴がタンクの上側になるよう紙フィルタを縦方向に広げます。（左図）

(2) 機体に装着する前に、ボール紙についている２ヵ所の折り目を矢印の方向へ約90°折り曲げます。（下図）

(3) 紙フィルタの吸込み用の穴を機体の吸込み口に合わせます。図の矢印方向へ、紙フィルタのボール紙が吸込み口にある抜け止め突起より奥側になるよう、しっかりとさし込んでください。

RP 35SB、RP 35SDの場合

(1) 紙フィルタの吸込み用の穴がタンクの上側に位置するように、紙フィルタを横方向に広げます（左図）。

(2) 機体に装着する前に、ボール紙についている2ヵ所の折り目を矢印の方向へ約90°折り曲げます（前ページの図参照）。

(3) 紙フィルタの吸込み用の穴を機体の吸込み口に合わせます。図の矢印方向へ、紙フィルタのボール紙が吸込み口にある抜け止め突起より奥側になるよう、しっかりとさし込んでください（前ページの図参照）。

フロート機構について … RP 35SA、RP 35SBの場合

⚠ 警　告

- **フロートが働いたままで、運転を続けないでください。**
  モーターの温度が異常に上昇し、部品の変形や、モーターが故障する原因になります。
- **洗剤など発泡性の液体や泡を吸込ませないでください。**
  フロートが働く前に空気の出口から泡がふき出します。
  そのまま使用すると、感電や故障の原因になります。

この機体には、一定量以上の水を吸込んだ場合に、モーター内に水が入るのを防ぐフロート機構が付いています。

フロートが動作して、水を吸込まないときは、速やかにスイッチを切り、タンク内の水を捨ててください。

保守・点検

⚠ 警　告

- **点検・手入れの際は、必ず電源スイッチを切り、さし込みプラグを電源コンセントから抜いてください。**
- **ぬれた手で作業しないでください。**
  感電やけがの原因になります。

1．フィルタの手入れ

注
- **フィルタは消耗品ですので、予備品を準備することをお勧めします。**
- **布フィルタは、目詰まりがひどい場合でも軽くたたく程度にしてください。（RP 35SA、RP 35SBの場合）**
  ブラシで強くこすったりすると寿命が短くなります。
- **フィルタは、たたきつけたりしないでください。（RP 35 SD場合）**
  樹脂部が割れる原因になります。

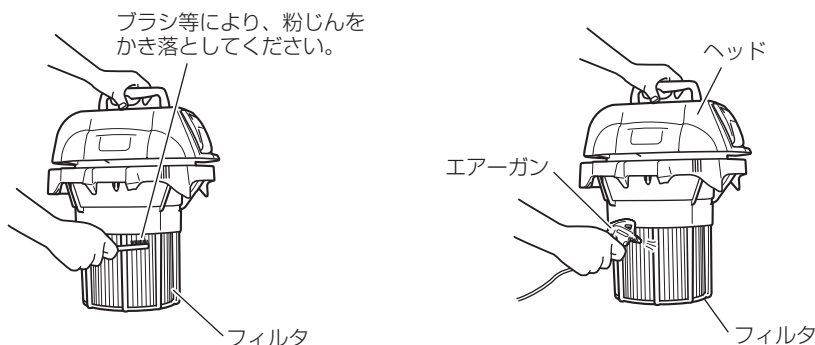
RP 35SA、RP 35SBの場合

フィルタが目詰まりしますと、吸込み力が著しく低下しますので、フィルタの内側を軽くたたき、こまめにちり落としてください。

RP 35SDの場合

フィルタは、目詰りがひどくなると、ちり落とし装置だけではちり落としが不十分で、吸込み力が低下します。

定期的（1～2か月に1回以上）に、ブラッシングや圧縮空気を吹きかけて清掃をしてください。

フィルタは、下図のようにブラッシングや圧縮空気を吹きかけて、目詰りした粉じんを取り除いて吸込み力の回復をはかり、性能を保持するようにしてください。

フィルタをすかして見て、破れや穴の有無を点検してください。（下図）

2．各部取付けねじの点検

各部取付けねじでゆるんでいるところがないかどうか定期的に点検してください。もしゆるんでいるところがありましたら締め直してください。

ゆるんだままお使いになりますと、けがなど事故の原因になります。

3．モーター部の取扱いについて

モーター部の巻線は機体の重要な部分です。巻線に傷、洗油および水をつけないよう十分注意してください。

4．表面のよごれの清掃

機体の外枠のよごれは乾いたやわらかい布かまたは石けん水をつけた布などでふいてください。

塩素系溶剤、ガソリン、シンナー、石油、灯油類はプラスチックを溶かす作用をしますので使わないでください。

5．機体や付属品の保管

機体や付属品の保管場所として、下記のような場所は避け、安全で乾燥した場所に保管してください。

- ○お子様の手が届いたり、簡単に持ち出せる場所
- ○軒先など雨がかかったり、湿気のある場所
- ○温度が急変する場所
- ○直射日光の当たる場所
- ○引火や爆発の恐れがある揮発性物質の置いてある場所

このような場所には保管しない。

ご修理のときは

　この機体は、厳密な精度で製造されています。もし正常に作動しなくなった場合は、決してご自分で修理をなさらないでお買い求めの販売店または日立工機電動工具センターにご依頼ください。
　ご不明のときは、裏表紙の営業拠点にご相談ください。
　その他、部品ご入用の場合や取扱い上でお困りの点がありましたら、ご遠慮なくお問い合わせください。

※（外観などの一部を変更している場合があります。）

お客様メモ

お買い上げの際、販売店名・製品に表示されている製造番号(No.)などを下欄にメモしておかれますと、修理を依頼されるとき便利です。

お買い上げ日　　年　　月　　日	販売店
製造番号(No.)	電話番号

■ 日立工機電動工具センターにご用命のときは、下記の営業拠点にお問い合わせください。

● 全 国 営 業 拠 点

営業本部　〒108-6020　東京都港区港南二丁目15番1号（品川インターシティA棟）　TEL（03）5783-0626(代)

北海道支店　〒004-0053　札幌市厚別区厚別中央3条一丁目2番20号　TEL（011）896-1740(代)

東北支店　〒984-0002　仙台市若林区卸町東三丁目3番36号　TEL（022）288-8676(代)

関東支店　〒108-6020　東京都港区港南二丁目15番1号（品川インターシティA棟）　TEL（03）5783-0608(代)

中部支店　〒451-0051　名古屋市西区則武新町一丁目32番16号　TEL（052）533-0231(代)

北陸支店　〒920-0058　金沢市示野中町一丁目163番　TEL（076）263-4311(代)

関西支店　〒663-8243　西宮市津門大箇町10番20号　TEL（0798）37-2665(代)

中国支店　〒730-0826　広島市中区南吉島二丁目3番7号　TEL（082）504-8282(代)

四国支店　〒760-0078　高松市今里町一丁目28番14号　TEL（087）863-6761(代)

九州支店　〒813-0062　福岡市東区松島四丁目8番5号　TEL（092）621-5772(代)

● 電動工具ご相談窓口 ── お買物相談などお気軽にお電話ください。

お客様相談センター　フリーダイヤル　0120-20 8822（無料）

※携帯電話からはご利用になれません。（土・日・祝日を除く　午前9：00～午後5：00）

電動工具ホームページ ── http://www.hitachi-koki.co.jp/powertools/

日立工機株式会社

202

部品コード　C99149304 F